

経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給方法の提供

タイトル ファンドによる資本供与と経営実態に即した与信枠の設定

JA名 農林中央金庫前橋支店（群馬県）

1 動機 (経緯)	農業法人に対し一層のサポートを行っていく観点から、技術力のある農業法人に対して資本供与する「アグリシードファンド」の提案を行ってきました。
2 概要	平成25年度に、露地野菜の栽培を行う農業法人向けに県内第1号の出資を行い、出資完了後も、定期的に当社を訪問し、業況のモニタリングを行うとともに資金繰り等の相談に乗ってきました。
3 成果 (効果)	<p>経営実績のモニタリングや経営相談を受ける中で、季節性の運転資金に対応する与信枠について相談を受け、運転資金枠の設定を行いました。</p> <p>資金枠の設定に際しては、資金繰り表の作成支援を行う中で、双方が納得する形で必要資金額の算定を行うなど、従来以上に関係を深めることが出来ました。</p>
4 今後の 予定（課題）	引き続き、訪問活動等によりアグリシードファンドの提案を行っていくとともに、同ファンドの利用を通じて、農業法人に対する経営サポートを行ってまいります。

【当社農場】

